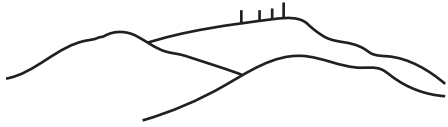


Youth Manna

2022/2/14 - /2/20



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2022/2/14(月)

申命記 25 章

1-3 節は、裁判で判定がなされた時、適切な処罰を下すべきだけど、人として卑しめられない程度にしなければいけないという教えだね。

4 節の「口籠」とは、牛が作物を食べるのを防ぐ道具のこと。脱穀する牛がその働きから食物を得られるようにということだけど、パウロはキリストの奉仕者に適用し、福音の働きから生活の支えを得るように主が定められたのだと説明しているよ(1コリ9:9-14)。

5-10 節は、子どもがいない場合、その家の名が残されるように命じられていることだよ。その義務を放棄することは、子なくして残された妻に対して憐れみの心を閉ざしているものであり、それがどれだけ恥ずべきことであるかが示されている。

神様の配慮は広く、全ての人に及んでいる。さまざまな定めにある神様の心を理解し、私たちも他の人への配慮を忘れないようにしよう！

2022/2/15(火)

申命記 26 章

約束の地に入り、そこに住むようになって、その地で収穫が与えられた時にどのように礼拝すべきかが書かれているね。

3 節。これは人ではなく、主への報告。私たちが礼拝する時、人の前に立っているのではなく、主の前に立っていることを覚えよう。

そこでは、主がなしてくださったことへの感謝が、ことばとささげ物によって表される。礼拝の時、どのような心で賛美し、語られるみことばに向かっているだろうか。そして主が与えられた恵みをもともに喜びること(11)から、分かち合うことが神様が私たちに望んでおられることだと受け取ろう！

家の教会で、あなたは心開き分かち合っているだろうか？祈って欲しいことや、感謝なことなど、日常的に分かち合うことを大切にしていこう！喜びも悲しみも、神の家族の中で分かち合おう！

2022/2/16(水)

申命記 27 章

約束の地を前にした神の民にとって、ヨルダン川は荒野の40年の旅路の最終地であり、同時に世代交代の分岐点でもあった。申命記は、次の世代が信仰をもって歩むために、守るべき神の教えが記されている。この箇所では、ヨルダン川を渡り約束の地に入った後に更新すべき契約についてモーセと長老たちが民に教え示している。

石の上におしえを間違えないよう書き記すことは、約束の地に入ってから生活の指針がみおしえであることを、民が心に刻むことを表している(1-8)。9-10 節でモーセと祭司たちが「あなたの神、主の民となった」と宣言する。民が主の掟を守り行うとき、神は彼らを祝福される。そして、「のろわれる」という12の戒めに対し、民は「アーメン」と同意を示し、誓約した(11-26)。

聖書を貫く戒めは「あなたは心を尽くし、命を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい」である。この戒めを実行しよう！

2022/2/17(木)

申命記 28:1-14

今日の箇所では主に従う者に対する祝福が語られている。

従う者には祝福が約束されている。それは単に私たちの望み(行きたい学校に行く、やりたい仕事につく、お金が与えられるなど)が叶うという個人的なことではなく、民全体に語っていることから、もっと大きな祝福であり、永遠のいのち、神様と共に歩む喜びを得ることである。神様に従順な者として歩もう！神様の祝福を受け取ろう！そして祝福を流していく者となろう！！

「悪に対して悪を返さず、侮辱に対して侮辱を返さず、逆に祝福しなさい。あなたがたは祝福を受け継ぐために召されたのです」第一ペテロ 3:9

2022/2/18(金)

申命記 28:15-37

昨日は神様に従う祝福について書かれていましたが、今日は不従順ゆえの呪いについて書かれています。その呪いは生活全体に影響し、疫病が人にも作物にも流行り(22)、真昼は闇になり(29)、いつまでも虐げられ(30-33)、経験したことのないような恐怖が襲う(34-37)。と書いてあります。

愛なる神様は優しいから何をしても大丈夫だと思う人もいるかもしれないね。しかし神様から人が離れた罪の刈り取りは必ずあると聖書は言っているよ。愛なる神様は、そうやって欲しくないからこそ呪いについても語られたんだ。

罪の刈り取りの結果である十字架という呪いを受けて私達を救って下さったイエス様の愛を思い出し感謝しよう！！

2021/2/19(土)

申命記 28:38-57

この箇所は神様に従わなかった結果が、国の農業や政治への困難や災難につながることを書いてある。食べるものも手に入れられなくなり、敵の国に攻められて、ついには親が自分の子どもを食べてしまうという悲惨な様子を読むと、辛くなるよね。

神様に従わずに離れ続ける罪は、そんな悲惨なことさえもできてしまう心を作ってしまうんだ。私たちには、本当に神様を恐れて従う心が必要だね。

神様の前にへりくだって従うことを選ぼう！その心が与えられるよう祈ろう！

2021/2/20(日)

申命記 28:58-68

のろいとわざわいの原因は神様のことばに聞き従わない、掟と命令を守らない不信仰によるものでした。

58 節「もしあなたが、この書物に記されている、このおしえのすべてのことばを守り行わず、この栄光に満ちた恐るべき御名、あなたの神、主を恐れなければならぬ、」

このようにして、みことばを守らないことへの警告が何度も繰り返されていたのにも関わらず、民たちはこのことばを軽んじていました。

この民の姿を、私たちはどう見るでしょうか。他人事でしょうか。昔話でしょうか。神様はおしえを守るなら、守らないなら、と選りばみを私たちに与えてくださっています。今も生きてはたらかれる神様が、語られていることばです。静まり、自分の毎日の選択が、どちらを選んでいるのか考えてみよう。